

日頃から本校教育活動に御理解御協力をいただき、ありがとうございます。

今回は、「進路相談会報告」「進路アンケートへの回答」「夏季研修報告」「2学期の主な進路関係行事」「頑張る先輩」の内容をお届けいたします。

進路相談会報告

7月13日（火）～16日（金）に、高等部3年生を対象に進路相談会が実施されました。この相談会は、関係諸機関の方々との関係作りや高等部卒業後の進路実現について、また、様々な福祉サービスの利用について、助言や情報提供をいただくことを目的として行われています。生徒、保護者、各市町の福祉課、真岡市障害児者相談支援センター、芳賀郡障害児者相談支援センター、県東圏域障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」、真岡公共職業安定所の方々が集い、各生徒の進路や現状について個別に相談会を行いました。なお、昨年度から感染症対策の意味もあり、高等部3年生のみを対象に行っています。

進路アンケートへの回答

過日は「進路アンケート」の御協力をいただき、ありがとうございました。その中で、「困りごと」として記載のあったものの中から、お答えできるものに関して進路指導主事が回答いたします。

手厚い施設の情報が知りたい

障害福祉施設には、利用者に対する職員の配置基準があり、人員についてはそれに基づいた人数で運営されているところがほとんどです。よって、数の上での「手厚さ」ということでは、どの施設も同様に人手が足りず厳しい状況があります。ただ、施設の雰囲気や運営方針等で、違った意味での「手厚さ」という指標はあるかもしれませんので、見学等で直接話を聴くと良いと思います。

福祉施設説明会が年に何度かあると良い

今年度は、コロナ禍の中ではありましたが、6月初旬に学校行事としての説明会を行うことができました。事後アンケートでも、会場のことや回数のことなど様々な御意見をいただきました（回答は学校ホームページ「進路指導室より」に記事がありますので御覧ください）。大規模な行事であり、他の行事との日程的な兼ね合いもありますので、今後も年1回実施の予定です。ただ、より参加者の皆様が有益な情報を得られるよう、運営には改善を施してまいります。

どんな働き先があるのか情報がほしい

「働き先」を企業とするか福祉施設とするかによっても異なります。福祉施設の場合、学校に問い合わせただけであれば手持ちの情報をお伝えすることができます。また、保護者の方から直接見学を申し込んでいただいても施設は対応してくれます。企業の場合は、本人の能力、特性、居住地、企業の採用計画等を総合的に判断し、学校からまずは実習の受入れを依頼します（縁故就職の場合を除く）。様々な要因が絡んできますので、個別の相談となります。なお、卒業生が就職した企業名については、例年「進路だより第1号」で御紹介しています。学校ホームページでも御覧いただけます。

一言で言えば、施設は「枠があるところに入る」、企業は「枠を作ってもらえるか検討してもらう」という違いがあります。

どんな職業に向いているのか、どんな職業なら続けていけるのか

例えば「同じ作業を飽きずに続けられる」とか「立ち仕事で体を使う労働の方がストレスを感じない」といった特性上の向き不向きはありますし、本人に無理を強いるような仕事では長続きもしません。しかし、「好きな仕事に就くよりも就いた仕事を好きになる」ことの方が重要なことではないかとも思われます。また、離職の原因のほとんどが、「人間関係」に行き着くというのも事実です。

仕事を続けられるかどうかはすべて本人の「責任感」と「気持ち」、加えて保護者の方の支援（生活面のサポートや時には厳しい励ましなど）にかかっていると言っても過言ではありません。

通勤できるか心配

企業就労の場合、自力での通勤は必須となりますので、そこを目指すのであれば、在学中から自転車の練習や公共交通機関利用の練習をしておきましょう。また、通勤途中でアクシデントに会った時や欠勤する際に、自力で連絡できることも必要です。

生活介護の施設が少ない

芳賀地区では、今年度から「益子マインド」「そらまめ」の2施設で生活介護事業がスタートしました。しかし、芳賀地区全体として見て希望者の数に比べて受入れ定員が少なく、飽和状態になりつつあります。また、宇都宮や他地域でも状況は同じです。そのような現状を踏まえ、地域の「自立支援協議会」などからも、各社会福祉法人に定員増等の働きかけが行われているところです。

夏季研修報告

☆7月28日（水） 施設見学 ～ビストロ・ペールド・ヴォーテ～

昨年度オープンしたばかりの新しい福祉施設です。令和2年度卒業生が1名、「就労継続支援A型」に通所し、レストラン業務の補助を行っています。「就労継続支援B型」の作業内容は、レストランで使う小物類を作ったり、同じ施設内にある老人福祉施設に弁当を配達したりする仕事です。芳賀地区への送迎は、現在「芳賀町総合運動公園」まで実施しています。



所在地 那須烏山市田野倉48-7
電話番号 0287-83-8872
サービス 「就労継続支援A型」（定員10）
「就労継続支援B型」（定員10）



☆今後の進路関係行事予定☆

10月 4日（月）～ 高等部3年：産業現場等における実習、1、2年：校内実習

10月 4日（月）～ 高等部1年課程Ⅰ：インターンシップ（感染症の状況によっては延期・中止）

10月11日（月）～ 中学部：校内作業実習

10月21日（木） 高等部実習報告会

10月22日（金） 中学部実習報告会

11月 5日（金）～ 中学部：職場体験（感染症の状況によっては中止）

11月11日（木） 保護者向け進路研修会（高等部対象）

※9月14日（火）に予定されていた「高2保護者向け職業ガイダンス」は延期しました。

がんばる先輩 ～卒業生の紹介～

『益子マインド』『ひばり』の生活介護を利用している 藤原 レオさん（令和2年度高等部卒業）の保護者の方にお話をうかがいました。

○施設ではどのような活動をしていますか？

『益子マインド』では、プラスチックの廃材をちぎったり、弁当の配達を手伝ったりしています。
『ひばり』では、主に入浴支援を受けています。



○進路先を決めるにあたって、どんなことを重視しましたか？

本人がストレスを感じずに落ち着いて過ごせることを第一に考え、慣れるのに時間がかかるので、将来のことを考えて2か所通うことにしました。あとは、歩く活動をしてくれる、できることを少しずつさせてくれる施設、ということを選びました。

○将来はどんな生活を送ってみたいですか？

入所できる施設で、自分の家のように穏やかに落ち着いて暮らしてほしいです。

○後輩にメッセージをお願いします。

一番は、コロナ禍の時代だからこそ、みんなが「マスク」を着けられるようになったほうが良いと思います。「フェイスシールド」は、練習して着けられるようになりました。マスクも早くから練習していれば、できたかもしれないと思っています。

また、学校で先生方がやってくれていたことを進路先でもやってくれるとは限りません。できることは自分でできるように、少しでも自立できるように、保護者の皆さんが心がけてください。すぐにはできなくても、あきらめないで取り組んでほしいと思います。

最後に、早くコロナ禍が落ち着いて、後輩の皆さんや保護者の皆さんに会えるといいなと思っています。